

東金市ガス事業経営戦略の改定（案）概要

第2章 経営の基本方針と将来環境の見通し

第3章 投資・財政計画

期間中の主要施策と目標指標

効率化・経営健全化に向けた取組

投資・財政計画

計画に未反映等の取組

2-3 施策の体系と基本方針ごとの取組む施策



2-4 目標指標

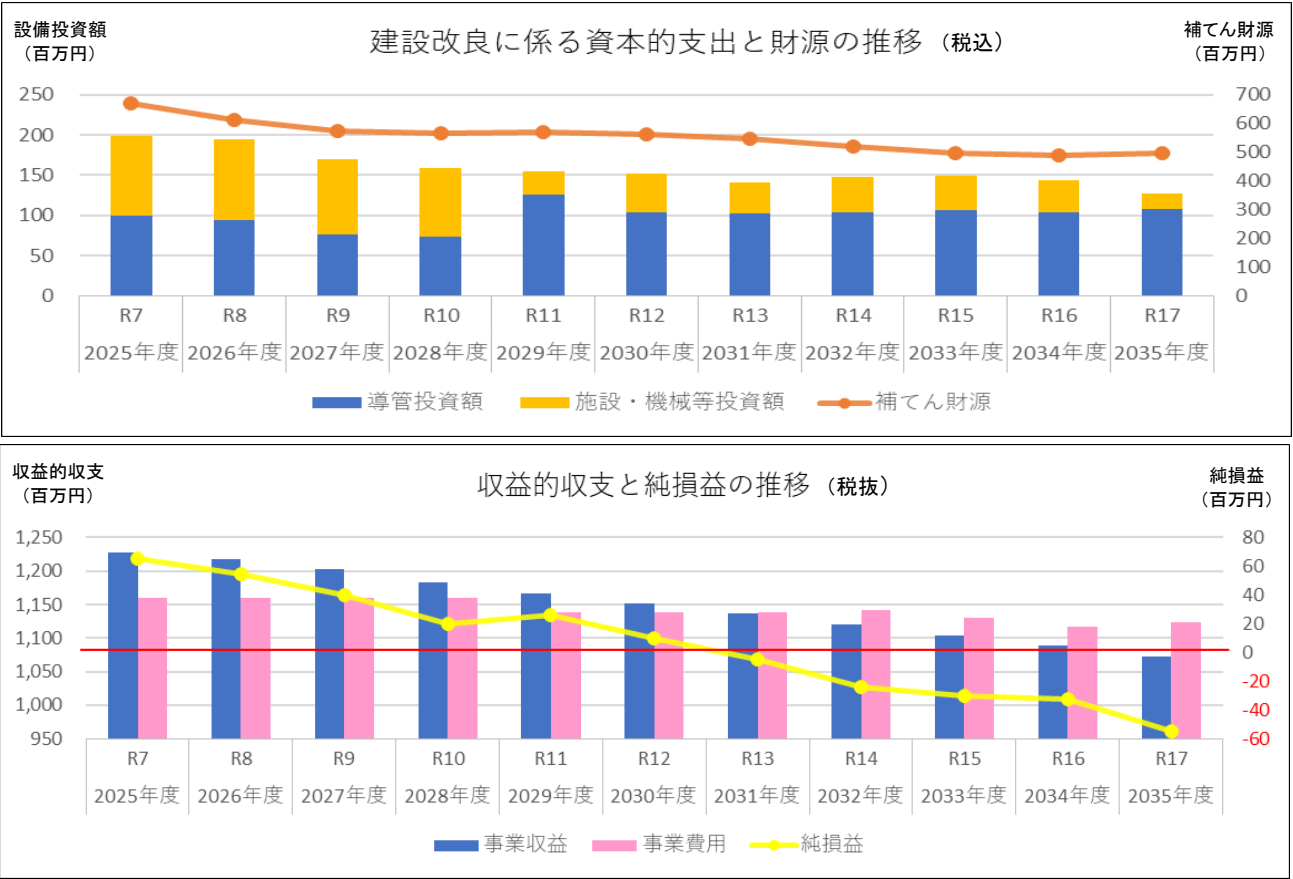
基本方針1	基本方針2	基本方針3
- ガス漏れ警報器設置個数 年間40個以上の設置又は更新 - 宅地内の白ガス管使用世帯の把握 2027（令和9）年度末完成 - ガス事故「0」の継続	- ガス導管の耐震化率 2029（令和11）年度 100%達成 - 整圧器遠隔監視システム導入 2026（令和8）年度末完成 - 災害時対応力の強化 職員への講習等年1回以上実施	- 経常収支比率 101%以上 - 収納率 当年度末80%以上、翌年度末99.9%以上 - 供給戸数 年間50戸以上の増加

3-1 経営の効率化・健全化に向けた取組

- 1) 建設改良に係る投資額の平準化
- 2) 資産の有効活用と既存施設の長寿命化対策の実施
- 3) 原価算定に基づく料金体系の適正化（料金改定の実施）
- 4) 将来に備えた積立金の確保
- 5) 新技術導入に伴う職員定数管理の厳格化
- 6) ICT活用によるサービス向上（アプリ決済の導入）

3-2 投資・財政計画 資料編 P2~4 参照

投資・財政計画は、本計画期間の2030（令和12）年度の5年後の2035（令和17）年度まで推計



3-3 投資財政計画に未反映や今後検討予定の取組

- 1) スマートメーターの導入時期の検討
- 2) 供給量減少に伴う施設規模の検討（廃止、スペックダウン等）
- 3) 地域福祉や高齢化社会への対応（検針時の声掛けサービス等）
- 4) 資産メーターのマイコン化の検討
- 5) 新規大口需要家獲得に向けた対応
- 6) ガスの受入れ増量検討（施設改修、卸元調整等）

第4章 事後検証及び改定の考え方

